

黒岩小学校だより

R4-12号

令和5年2月14日発行

本に親しむ環境づくり

12月に実施した学校評価アンケートにおいて、「家で本を読んでいますか？」の設問に対して40%の児童が否定的な回答をしています。このことに今、危機感を感じています。黒岩小学校は本好きな子どもが多いという印象を持っていたのですが、どうも二極化しているようです。図書室でたくさんの本を借りている児童がいる一方、ほとんど本を読まないという児童もいます。毎月実施している読み聞かせや図書委員会の活動など、本に触れる取組を行ってきたものの、読書習慣には必ずしも結びついていないように感じています。



本を読むことで私たちは、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにしてきました。たくさんの本を読んだ人は、人生が豊かになると主張する人もいます。本を読む力は、子どもの中に身につけさせたい大切な力です。黒岩小学校に在籍している間に、すべての児童が、本を好きになり本を楽しめるようになって欲しいと願っています。そのためには、本に親しむ環境づくりが必要だと思います。

本に親しむ環境を作っていくには、友達や家族など身近な人たちが気軽に本に触れている中に身を置くことが必要ではないでしょうか。自分の周りの人たちが気軽に本に親しんでいれば、自然と本に向かうようになるのではないのでしょうか。本に触れていく中で本が好きになり、自ら本に向かうことが自然にできるようになると考えます。

学校では、これまで以上に、本に親しむ環境づくりに向けた取組を進めます。併せて、家庭でも本に親しむ環境づくりに向けてご協力くだされば幸いです。本を読むことを楽しむ児童を目指して、学校と家庭が協力して取組を進めていきたいと考えています。

今月の論語

しのたま これしものこれこのものし これこのものこれ たのものし

子曰わく、「之を知る者は之を好む者に如かず。之を好む者は之を楽しむ者に如かず。」

[意味]

孔子先生が、おっしゃった。

「知っているだけの人よりも、好きになった人の方が優れている。

好きになった人よりも、楽しんでいる人の方がもっと優れている。」

[解説]

分からないことが分かるようになると、うれしいですね。それを好きになれば、もっとうれしいですね。好きになって楽しめるようになったら、素晴らしいと思いませんか。

学校関係者評価を実施しました

2月9日に開催した第5回黒岩のこどもの未来を考える会において、学校の自己評価および学校評価アンケート集計結果をもとに、学校関係者評価を行いました。

○豊かな心と健やかな体の育成（自己評価－B，学校関係者評価－B）

- ・教員と児童との距離が近く、安定した学校生活が送れている。
- ・もっと我慢することを教えないといけない。
- ・道徳の授業などで、友達の良いところを見つけて褒め合う活動をしてはどうか。
- ・基本的な生活習慣の確立に向けて、もっと学校が家庭に関わって良いのではないかな。

○学力の向上（自己評価－B，学校関係者評価－B）

- ・タブレットの活用など、現代のニーズに合った教育体制が取れている。
- ・本を読む大人の姿を子どもに見せていくことが必要ではないか。家庭で本に親しむ習慣を付けていきたい。
- ・保護者の学力への不安を払拭するためにも、積極的に授業参観を行ってはどうか。

○ふるさと教育の推進（自己評価－A，学校関係者評価－A）

- ・黒岩城学習が瑞応盆踊りにつながったのが良かった。
- ・地域を良くしたいという考えが児童に浸透している。
- ・保護者にも地域学校支援本部のボランティアとして協力してもらい、親子でふるさと学習ができる機会を作ってはどうか。

3月



の黒岩小学校

- 3月 1日（水）6年生を送る会
6日（月）ハローウォーク（～10日）、委員会
菊池省三先生特別授業（～7日）
10日（金）あいさつ運動
13日（月）クラブ
14日（火）朝の読み聞かせ，読み聞かせ
23日（木）卒業式
24日（金）修了式，離任式
27日（月）黒岩のこどもの未来を考える会⑥



-----きりとり-----
返信【黒岩小だより R4-12】ご意見・ご感想をお寄せください。 お名前（ ）